

KUYC LETTERZINE



京都大学体育会ヨット部 活動報告

□続・京大ヨット部の今 □部員リレーインタビュー □第4回ノースセール講習会 □今日のマネ飯 2020.8.1

[Vol.018]



活動再開時期の練習の様子。沖での活動の貴重さは増す一方です。

続・京大ヨット部の今

4/1から大学からの要請により当部の活動自粛が始まりました。活動再開に至るまでの間、各クラスリーダー、マネージャーリーダーを中心として座学やミーティングを行い、個人のレベルアップを図りました。また、毎日のトレーニングの記録を共有することで自粛期間のトレーニングに対するモチベーションの維持と再開後のパフォーマンス向上に努めました。沖に出られない時間が長かったのですが、その分、ミーティングで動画研究がしっかり行うことができたり、細かい動作などの言語化を行うことができたり、個人で、そして艇で、沖で試したことのフィードバックがしやすい状況を作り出すことができたと思っています。

自粛開始から約3か月経った7/11に無事、大学から活動再開の許可を受けて活動を再開しました。当部は大学のチェックを受けたガイドラインを遵守し、任意参加での再開でした。他の大学が数週間早くから練習を再開しているという事実には焦らず、まずは部員の安全と健康を第一に部活の運営をしていました。

しかし、7/21より課外活動の停止が大学により定められ、再開期間は10日間にとどまりました。現在、沖での練習をすることはできませんが、気落ちせずに一人ひとりが毎日目的意識を持ち、部としてまとまって変わらず11月の西宮インカレで総合3位を獲得するという目標を達成するために精進してまいります。これからの京大ヨット部の活動にご理解と変わらぬ熱い応援をよろしくお願い致します。

日々練習に励んでいる部員の生の声をお届けします。
今回は3年生470クルー奥山凌へのインタビューです。



470クルー

奥山 凌

1999年滋賀生まれ。膳所高校出身。京都大学工学部建築学科。入部以来ずっと増量に励む。60kg以下ならばスキッパーに転向だという現470リーダーからの圧に必死で抗っている。

Q. 尊敬する先輩は？

A. 4年生470クルーの藤田さんです。溢れる漢気で主将を務められているのはもちろんのこと、1プレイヤーとしてとても尊敬しています。特にヨットという競技に向かう姿勢や、技術面、精神面で最高のペアを作るクルー力においては今の自分は到底敵いません。先日470チームは今年初の配提案を発表し、練習も一時再開しました。そこで技術を伸ばすための練習への取り組み方、よいペア関係の作り方を考えるうえで藤田さんをかなり参考にしています。同じチームで競技に取り組める時間は限られていますが、少しでも多くのことを吸収して成長し、チームに貢献したいと思っています。

Q. 活動休止期間にしていたことは？

A. 読書です。休止時間は部活動に捧げていた時間が空いたことで趣味の読書に没頭することができました。読んだ本の種類は様々で、推理小説から感動モノ、ビジネス書を含め月に10冊程度は読んだと思います。読書の良いところは自分の人生で得られない経験を疑似体験できることと、表現力が広がることだと思っています。特に後者は同期から語彙の少なさを指摘されることの多かった私にとってはよい経験になったのではないのでしょうか。活動休止によってヨット部の密なコミュニケーションが失われた今だからこそ、自分の言葉をしっかり発信してチームの活力につなげていければと思っています。

Q. レースシーズン、インカレにむけて

A. 今年の個人的な目標としてはレースの場でチームに貢献することを掲げています。昨年は自分の実力不足により競技面でチームを支えることができず、悔しい思いをしました。今年度も想定外の事態の下でチームの成長が求められる難しい状況にありますが、だからこそ個人の目標としてレースの場貢献することを目指し、その姿勢でチーム全体により影響を与えられるようになりたいと思っています。今練習ができることへの感謝を忘れず、練習の中で1秒1秒を無駄にしないよう取り組んでいきたいです。



新艇の到着に喜ぶ奥山(手前)。
数少ない経験者でもある彼の今後の活躍に期待です。

第4回NorthSail講習会

4年生スナイプリーダーの太田誠です。自粛期間に行われたNorthSailJapanの白石さんによるオンライン講習会について報告させていただきます。

3回にわたって行われた講習会ではヘルムの話や、乗艇中の意識の話などヨットの基本となることを話して頂き、トップセラーの方ほど、基本に忠実にヨットに向き合っていることを知り、学生の自分たちは、なおさら基本となることを大事にしなければいけないと痛感しました。

また、自分と同じポジション(スナイプクルー)で、現在日本でもトップレベルの選手である上田真聖さんのクルーとしていかにヨットに向き合っているかというお話も聞かせていただき、非常にモチベーションの上がるいい機会となりました。一時再開時には、自粛期間にためた知識を洋上で自分たちの技術へと昇華させ、このような講習会のおかげで練習が非常に質の高いものとなりました。残された時間を大切に使いながら、目標となるインカレでのメダル獲得に向けて邁進してまいります。



年明け前の九州遠征の一枚。
また、全国でレースしたいですね。

今日のマネ飯 today's dinner

部員たちの体調を支える毎日の食事。その中の一つを紹介します。

～和風オムライス～

チキンライスのオムライスではなく、バターをたっぷり混ぜ込んだご飯の上にふわふわの卵、そして明太マヨネーズをかけたかなり満足感のあるマネ飯です。

艇庫でバターライスをかき混ぜるといい香りがキッチンに広がって幸せな気分になります。



2年生
マネージャー
小川原 沙希

京都大学体育会ヨット部

滋賀県大津市鏡が浜番外地
京大ヨット部艇庫
[tel] 077-525-0312
[hp] <https://www.kuyc-home.com/>



<https://twitter.com/kuyc>



<https://www.facebook.com/kyoto-sailing/?fref=ts>



https://www.instagram.com/kuyc_food/?hl=ja
https://www.instagram.com/kuyc_manephoto/